

【3. 学生及び研究者支援】 ⑥研究者への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
北海道	北海道大学	<p>○今回の震災の被害により研究環境が確保できなくなっている大学等の研究者へ必要に応じ研究スペース等を提供する体制を整備し、教員・研究員15名を受入れ。</p> <p>○大型計算機が使用できなくなった大学における大型計算機の利用者5名に対し、本学の大型計算機を利用させた。(7月22日まで)</p> <p>○文部科学省プロジェクト「21世紀気候変動予測革新プログラム」の情報交換用webサイトを運用していた(独)国立環境研究所(つくば市)のサーバが停止したため、同webサイトを本学に設置するサーバで運用。(4月25日～)</p> <p>○独立行政法人農業生物資源研究所(茨城県つくば市)からの依頼に基づき、計算機をリモートで使用することを許可。(3月31日～2月17日)</p> <p>○被害を受けた公的機関に対し、試料の保管スペースとして低温室(-50℃等)を提供する体制を整備。(3月22日～)</p> <p>○東北大学大学院医学研究科感染症分野に対し、抗体等の試薬を提供。(8月1日)</p> <p>○本学が文部科学省の「先端研究施設共用促進事業」として実施する産業イノベーション事業において、被災研究者支援の一環として、震災の影響により研究活動が困難となっている者の機器利用料を免除する体制を整備し、2件の機器利用料を免除。(10月4日)。</p> <p>○岩手県水産技術センターの要請に基づき、同センターに万能投影機等の研究機器類を提供。(3月16日)</p> <p>○岩手県水産技術センターの要請に基づき、同センターと協力して岩手県沿岸域における被災後の漁場環境調査及び水産資源動態に関する調査を実施。(8月, 10月, 12月)</p> <p>○東京海洋大の要請に基づき、放射能測定用プランクトン標本を採集し、同大へ提供。(7月29日～8月4日)</p>
北海道	小樽商科大学	<p>○震災に伴う交通網の遮断に関連し、他大学へ異動する教員の引っ越しの延期に配慮(5月まで)</p>
東北	弘前大学	<p>○被災大学の研究者に対して、機器分析センターの登録機器の使用を無償で提供するための体制を整備。 URL:http://www.rprc.hirosaki-u.ac.jp/~kiki/gakugai/txt/oshirase.html</p>
東北	山形大学	<p>○研究に支障が無いよう、研究期間の確保に努めた。</p>
関東・甲信越	千葉大学	<p>○環境リモートセンシング研究センター(全国共同利用機関)では、東日本大震災の被災機関や震災に伴う緊急の課題の申請の場合、申請期間を過ぎても引き続き平成23年度共同研究の申請を受け付けている。 http://www.cr.chiba-u.jp/indexjp.htm ※4/20千葉大学HPに掲載、現時点まで申請期限後の申請者はいない。</p>
東京	東京医科歯科大学	<p>○被災研究者支援のための共同研究を随時募集している。</p>
東京	東京外国語大学	<p>○研究室、研究に伴う宿泊施設等について10人分程度の提供を用意した。 http://www.tufts.ac.jp/jishin/information/kenkyusha_shien.html 被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備したが、調査時点で希望者はいなかった。</p>
東京	東京農工大学	<p>○被災地域の大学において甚大な被害を受け、研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者に対して、研究環境の確保について可能な範囲での支援(受入研究室のマッチングなど)を行う。</p>
東京	東京工業大学	<p>○資源化学研究所、精密工学研究所、応用セラミックス研究所の一部で研究者受け入れの体制を整備。</p>
東京	お茶の水女子大学	<p>○被災地の研究者の一時受け入れ態勢を整備</p>
東京	電気通信大学	<p>○申し入れがあれば可能な限り対応することを決定した。</p>
関東・甲信越	横浜国立大学	<p>○被災地の研究者に対して研究スペースの提供、研究機器を共用等の体制を整備した。 http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/2665/detail.html ○実験設備の開放</p>
関東・甲信越	新潟大学	<p>○本学施設・設備等が利用できる体制を整備した。</p>

【3. 学生及び研究者支援】 ⑥研究者への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
関東・甲信越	信州大学	○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備
関東・甲信越	総合研究大学院大学	○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備 http://center.soken.ac.jp/act/press20110408.html
東海・北陸	富山大学	○和漢医薬学総合研究所において共同利用研究の利用枠の提供等を実施
東海・北陸	金沢大学	・がん進展制御研究所において、研究室等が被災し、研究の遂行に支障を来している研究者に「共同研究（被災研究者支援）」を募集（4月1日から）
東海・北陸	福井大学	被災地の研究者の一時受け入れのために研究スペース（松岡キャンパス）を確保
東海・北陸	静岡大学	○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備。 URL:http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_ukeire_forout.html
東海・北陸	名古屋大学	各部局を通じて各研究室単位での受け入れ可能情報をとりまとめ、（学生等受け入れ可能な研究室等が125で、受け入れ可能人数は350人程度）ホームページに掲載し希望を募っている。 受入実績は、4件13名
東海・北陸	名古屋工業大学	○被災された大学及び研究機関等の研究者の受入体制を整備(再掲) URL:http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_13.html ○被災された大学及び公的研究機関からの受託分析の低料金での優先実施 URL:http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_14.html ○被災された大学の機械加工のサービス提供について URL:http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_15.html
東海・北陸	豊橋技術科学大学	○被災した国立高等専門学校5校に対し、共同利用機器の無償使用について通知。
東海・北陸	三重大学	○現在（該当者なし）特段の整備は行っていない。（要請等あれば整備について検討。）
東海・北陸	北陸先端科学技術大学院大学	客員研究員や特別研究員制度による受け入れで対応することとし、受入規模、受入期間等については、状況に応じて弾力的に対応することとした。
近畿	京都大学	<ul style="list-style-type: none"> ・全学共用スペースを被災研究者に対する支援スペースとしての弾力的運用 ・計画停電等により質量分析計を稼働できない機関を対象に質量分析測定の協力 ・スーパーコンピューターセンター間での計算資源の融通 ・その他、研究科単位にて研究スペース、機器の共用を支援 URL:http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/~kenkyubu/shukai.htm <ul style="list-style-type: none"> ・被害を受けられた研究者の方々の研究活動を支援するために共同研究を公募 URL:http://www.virus.kyoto-u.ac.jp/kyoten/eq_kyodo.html <ul style="list-style-type: none"> ・特殊研究材料、遺伝子改変動物の維持・保持・管理への協力 URL:http://www.med.kyoto-u.ac.jp/J/earthquake.html
近畿	大阪大学	○各研究室において学生・教職員等を受け入れ（東北大15名、東京大3名、筑波大2名、千葉大1名）

【3. 学生及び研究者支援】 ⑥研究者への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
近畿	神戸大学	<p>○被災された研究者の方々への支援 http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_12_01.htm</p> <p>○平成23年3月に東北大学又は東北学院大学の法科大学院を修了した者に対し、施設利用ができるように体制を整備した。(該当者なし)</p> <p>○放射線関連研究者の支援(測定器貸し出し、被ばく管理、汚染管理、助言、放射線施設の提供)</p> <p>○農学研究科による一般公開講座で使用される牛肉の放射能測定支援</p> <p>○被災された研究者の方々への支援 http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_12_01.htm 研究所HP「お知らせ欄」掲載中：http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/</p>
近畿	奈良先端科学技術大学院大学	<p>○被災大学院生等に対する教育研究支援体制を整備 http://www.naist.jp/news/jisin_taiou.html</p>
中国・四国	鳥取大学	<p>○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備</p> <p>○被災研究者支援共同研究を臨時公募し、総額574,000円の研究費を支援</p>
中国・四国	島根大学	<p>○被災地の研究者への研究環境提供のための体制を整備</p>
中国・四国	岡山大学	<p>(資源植物科学研究所) 共同利用研究の利用枠の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究テーマー遺伝資源または植物のストレス科学を中心とする植物研究に関する共同研究 ・利用実績ー東北大学工学研究科 魚住教授 他4人(教員2人、大学院生3人) ・利用期間ー平成23年4月12日～平成24年3月31日まで (地球物質科学研究センター) 共同利用研究員の追加公募ー実績はなし <p>他にも、自然科学研究科、理学部附属臨海実験所等へ装置利用等の依頼が多数</p>
中国・四国	広島大学	<p>○被災地の研究者の受入体制を整備 http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html</p>
中国・四国	山口大学	<p>○山口県内にある実家に避難した被災地研究者に、本学の大学情報ネットワーク利用を提供(許可)。(6月30日まで実施)</p>
中国・四国	徳島大学	<p>○実験装置部品の提供</p>
中国・四国	愛媛大学	<p>○研究スペースや研究機器の利用についての支援を提供できることとした。</p>
中国・四国	高知大学	<p>○研究スペースおよび実験機器一式を研究者3名に提供(3月28日～4月5日、5月10日～6月3日、8月1日～8月20日)</p>
九州	福岡教育大学	<p>○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備(現時点で希望者なし)</p>
九州	九州大学	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備。 <p>特に、農学研究院、法学研究院、生体防御医学研究所が、被災地の研究者への研究環境提供等の支援についてのお知らせをホームページに掲載。 http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/ http://www.law.kyushu-u.ac.jp/tools/displaynews.php?id=113 http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/mib/activities_collabo.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先導物質化学研究所において、「物質・デバイス領域共同研究拠点」の東北・北関東地区の施設利用支援等の重点実施について、4月よりHPに掲載。支援経費を準備し、10月より活動を本格化した。 ・計算機設備(PCクラスター)の提供のほか、計算機リソースやスパコンなどについても被災地の研究者が利用できるよう、体制を整備。

【3. 学生及び研究者支援】 ⑥研究者への支援

支部名	大学名	活 動 実 績
九州	九州工業大学	○研究実施等に関し、被災地域大学からの支援相談に関する学内調査を実施し、研究者に寄せられている支援要請等の状況把握を行った（継続実施）。その後、本学の教員1名から、震災に伴う計画停電等により影響を受けた大学に在籍する職員の受入申請があり、研究者1名及び帯同者5名を8日間（8月6日～8月14日）受け入れた。なお、宿舎、学内共同教育研究施設等・附属図書館の利用、研究装置等の移転については無かったが、研究者受入時の支援については、宿舎料の支援、研究機器等の移転費、研究経費、光熱水費、初期活動費等の予算措置を含め、様々なケースが考えられるため、臨機応変に対応することとしている。また、計画停電地域の大学で運用されていた、ある学会のメーリングリストを、本学の研究室のサーバーに移して運用しているなどの対応も行っている。
九州	佐賀大学	○ 総合情報基盤センターの利用を可能にした。 ○ 総合分析実験センターの利用を可能にした。 （ http://www.iac.saga-u.ac.jp/aid.pdf ） ○ シンクロトロン光応用研究センターの利用を可能にした。 （ http://www.slc.saga-u.ac.jp/old20110907/support.html ）
九州	長崎大学	○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備
九州	大分大学	被災地域の大学において甚大な被害を受け、研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者に対して、研究スペースの提供等可能な限り柔軟に対応することを公表した。 URL: http://www.oita-u.ac.jp/O1oshirase/kenkyusien.html
九州	宮崎大学	○研究スペースの提供や研究機器の利用等の便宜を図るなどの対応
九州	鹿児島大学	○水産学部での支援 ・4月6日 鹿児島大学水産学部では、この度の震災に伴い所属大学での修学や研究が困難になった学生、院生、教職員に対して、附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション（旧水産実験所）をはじめとする施設の利用や、当学部の授業の公開（聴講）、卒論研究支援等を行う用意がある旨の連絡があり、4月13日に本学ホームページに掲載するとともに国大協へ報告。 URL: http://www.kagoshima-u.ac.jp/information/2011/04/post-40.html ○【大学連携設備NW】（FSRC） ・3月14日 分子科学研究所機器センターより、東京電力での輪番停止による計画停電が計画・実施により、装置をまともに稼働出来ず多くの大学で装置を停止しているとの情報があることから、設備ネットワークではこの状況を集中的にケアする為に利用可能な設備の案内をホームページ上で行うこととなり、3月30日に本学「電界放出形走査電子顕微鏡」など8設備が可能（依頼分析に限る）として回答
九州	鹿屋体育大学	○被災研究者からの支援申し出があった場合の方策について、検討を進めている。
九州	琉球大学	○被災地の研究者の受け入れのための体制を整備